

ドラマがサプライズ登場！
「やっとこの日が迎えられて、
超嬉しい！超嬉しい！」
日曜劇場『VIVANT』の世界に飛び込む
「VIVANT IMMERSIVE MISSION」
メディア内覧会を開催



乃木、野崎、ノコルら
総勢12名のキャラクターが“声”で任務を指示
ドラマ制作チーム総出で作り上げた没入体験の舞台裏

TBSテレビは、日曜劇場『VIVANT』の世界を再現したTBSドラマ体験型イベント「VIVANT IMMERSIVE MISSION」の開幕に先駆け、2026年9月15日（火）、東京・京橋のCREATIVE MUSEUM TOKYOにてメディア内覧会を開催しました。

オープニングイベントには、「VIVANT IMMERSIVE MISSION」実行委員会の木村友香と、日曜劇場『VIVANT』の監督であり、本イベントの監修を務めた宮崎陽平が登壇。イベント誕生のきっかけや、ドラマの世界観を実際の体験へと落とし込むまでの制作秘話を語りました。

さらに、スペシャルゲストとして日曜劇場『VIVANT』でお馴染みのドラムがサプライズ登場。「やっとこの日が迎えられて、超嬉しい！超嬉しい！」と、スマートフォンを通じたお馴染みの音声で喜びを表現し、翌日に迫った開幕を盛り上げました。

「VIVANT IMMERSIVE MISSION」は、2026年9月16日（水）から11月27日（金）まで開催します。

■ドラムがサプライズ登場！

「やっとこの日が迎えられて、超嬉しい！超嬉しい！」

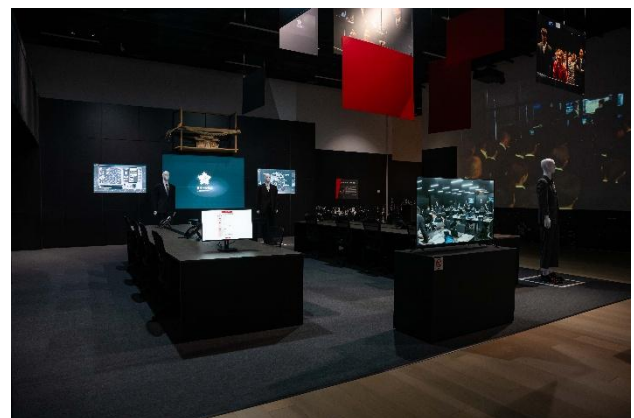


MCを務めたTBSアナウンサー・浦野芽良が「本日のスペシャルゲストにご登場いただきましょう！」と呼びかけると、日曜劇場『VIVANT』でお馴染みのドラムがサプライズで登場しました。

ドラムは、スマートフォンを操作しながら「こんにちは、私はドラムよ、よろしくね。今日は『VIVANT IMMERSIVE MISSION』に来てくれて、ありがとね！やっとこの日が迎えられて、超嬉しい！超嬉しい！」と挨拶しました。

さらに、会場内に再現されたセットについて、「乃木さんや野崎さん、ノコルさんたちがいる『VIVANT』の世界が広がっているよ！乃木さんが使っていたゲルや、野崎さんたちがいた公安の部屋、乃木さんとベキさんが初めて会ったテントの地下牢もあるよ」と紹介。

劇中で使用した衣裳や小道具も展示していることに触れ、「ドラマのシーンを思い出しながら、じっくり見てね！」と来場者に呼びかけました。



■ドラムのおすすめは、もちろん「ドラムの仲間探し」！
来場メディアに「取材するだけじゃ、もったいないよ！」

本イベントでは、来場者がスマートフォンアプリ「Auris（オーリス）」を使いながら、「別班」「公安」「テント」「ドラムの仲間探し」の4コースから一つを選び、会場内に仕掛けられたミッションに挑戦します。

ドラムは、「見るだけじゃないよ！みんなが『VIVANT』の世界に入って、ミッションに挑戦する参加型アトラクションなんだ！」とイベントの魅力を紹介しました。

おすすめのコースを聞かれると、「どれにするか迷ったら、もちろん『ドラムの仲間探し』がおすすめだよ！ボクの仲間がいっぱい集まったら、超嬉しい！超嬉しい！」と、ドラムらしくアピール。

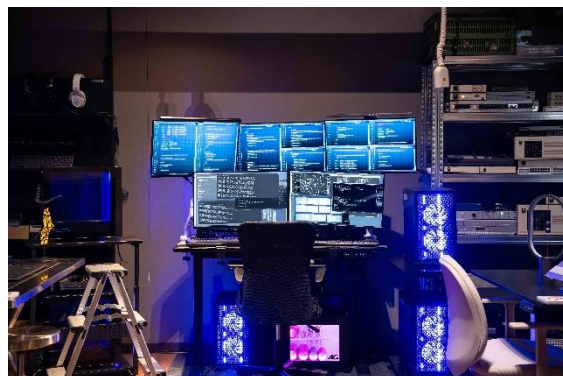
最後には、集まったメディアに向けて「今日は取材するだけじゃ、もったいないよ！みなさんも『VIVANT』の登場人物になったつもりで、本気でミッションに挑戦して、思いっきり楽しんでね！『VIVANT』の世界へ、行ってらっしゃい！行ってらっしゃい！」とメッセージを送りました。

■「同じセットでも、立場が変われば違って見える」イベント誕生のきっかけを明かす

トークセッションには、「VIVANT IMMERSIVE MISSION」実行委員会の木村友香と、日曜劇場『VIVANT』監督で、本イベントの監修を務めた宮崎陽平が登壇しました。

イベント誕生の経緯について、木村は、「『VIVANT』のセットの中で、『別班』『公安』『テント』の三勢力が、同じ場所を舞台に異なるストーリーを描けたら面白いのではないかと。それを音声によって導けるのではないかとというアイデアがあり、それをドラマチームと美術チームと相談していきました。」と明かしました。

宮崎は、「『VIVANT』では、モンゴルや日本各地のロケ地を訪れるなど、聖地巡礼を楽しんでくださっている方が多くいらっしゃいます。『VIVANT』の世界や乃木さんの冒険を自分も体験したいという思いを持ってくださっている方が多いと感じていました」とコメント。何かできることはないかと考え、参加させてもらいました」と振り返りました。



■ドラマ制作チームがストーリーを徹底監修 さらに豪華キャスト陣がイベントのためにボイスを収録

木村は「劇中のセットを展示しているだけではありません。その空間で、乃木や野崎、ノコルたちが耳元から指令を出し、来場者自身が物語を進めていくことが大きな特徴です」と紹介。

会場では、乃木憂助（堺 雅人）、野崎 守（阿部 寛）、ノコル（二宮 和也）をはじめ、総勢12名のキャラクターが音声で来場者を導きます。

ストーリーの制作について宮崎は、「台本をドラマ制作チームで確認し、このキャラクターならどのように説明するか、ここに来たらどのような言葉をかけるかを考えていきました。

『もしかすると、ドラマで描かれた物語の裏側で、こういう出来事があったのかもしれない』と想像してもらえるような内容を、プロデューサー陣や監督陣、福澤監督とも相談しながら作りました」と説明しました。

また、収録時には、キャラクターが置かれている状況や感情を制作陣と出演者が改めて確認したといいます。

宮崎は「ご本人から『このときの自分なら、こうは言わないと思う』と意見をいただき、せりふを調整したこともありました。逆に制作側から、ここはもう少し怒ってもらった方がよいかもしれないとお願いするなど、ドラマ本編と同じように、キャラクターの魅力を引き出しながら作ることができました」と、収録の舞台裏を明かしました。

■浦野アナは乃木に叱られ「別班適性35%」

宮崎監督は初回で90%、さらに「0%にも特別な仕掛け」

本イベントの見どころについて、木村は「日曜劇場『VIVANT』で実際に使用したセットを、この会場内に展示しています」と紹介。

第1シーズンで乃木と黒須が捕らえられていた「テントの地下牢」をはじめ、第18話に登場した別班の作戦室まで、ドラマの美術チームが手がけたさまざまなセットが来場者の目の前に広がります。

さらに会場内には3つのミッションエリアがあり、どのコースを選んでも、合計9つのミッションに挑戦します。

「別班」では乃木の特技にちなんだ米の量を測るミッション、「公安」では盗聴器を探し出すミッション、「テント」では究極の選択や爆弾解除、「ドラムの仲間探し」では、子どもも楽しめる宝探しなどに挑戦します。

ミッションの途中には、別のコースのキャラクターが割り込んでくるなど、思いもよらない展開も用意。参加者の選択や行動によってキャラクターの反応が変わり、褒められることもあれば、厳しく叱られることもあります。

宮崎は、「ボイスの分岐を数多く収録しているので、何度体験しても違う声を聞ける楽しみがあります。最後に表示される適性数値によって、キャラクターの言葉も変わります」と説明しました。

一足早く「別班」コースを体験した浦野アナウンサーは、乃木から厳しい言葉を受け、適性数値は35%という結果に。「悔しいので、もう一周したいです。次は50%を超えたいと思います」とリベンジを誓いました。

一方、宮崎は初回で90%を記録したと明かし、「『VIVANT』をよく見てくださっている皆さんなら、すぐに100%を取れるかもしれません。実は0%を取ったときにも特別なことが起こるので、ぜひ会場で確かめてください」と、隠された仕掛けについても語りました。



■劇中の名シーンがコラボカフェ「EXTRA MISSION CAFE」に登場！

適性結果を見せた人だけが注文できるシークレットメニューも

会場に隣接するコラボカフェ「EXTRA MISSION CAFE」では、「別班」「公安」「テント」の三勢力をイメージしたメニューを提供します。メニューの一部には、指定された量のご飯を自分で測り、重さをぴったり当てる“EXTRA MISSION”も用意されています。

さらに、第17話で野崎とドラムがシンシーの牢屋に捕らえられた際、ドラムが食べていたチャーハンと肉まんのセットや、『VIVANT』には欠かせない赤飯、第1シーズン冒頭の砂漠を歩く乃木をイメージしたティラミスなども登場。

宮崎は、「一つひとつのメニューに、“あのときの、あれだ”と思ってもらえる要素を入れています。チャーハンのメニューも、ドラマの撮影を進めながらイベントチームに提案しました」と説明。

木村は「メニューはドラマ制作チームにも試食してもらい、細かな部分まで監修していただきました。メニュー名にも注目してほしいです」と語りました。

また、ミッション終了後に表示される適性結果の画面を提示した人だけが注文できる、シークレットメニューも用意されています。



■ イベント限定グッズも多数登場

ドラムのぬいぐるみやAIハヤトの瓦せんべいを紹介

会場内の物販コーナーでは、「VIVANT IMMERSIVE MISSION」オリジナルのドラムのぬいぐるみをはじめ、AIハヤトがプリントされた瓦せんべい、Tシャツなど、イベント限定グッズを販売します。

宮崎はグッズを手にしながら、「ここに来ないと買えないそうです。グッズも今後増えていきます」と紹介。

木村も「会場限定ですので、ぜひ注目していただきたいです。カフェやグッズまで含めて、皆さんに楽しんでいただきたいという思いが詰まっています」とアピールしました。



■「『VIVANT』ファン一人ひとりに届けたい」

木村友香、宮崎陽平監督がイベントに込めた思い

最後に木村は、「ドラマ作品で、このようなイベントを作れる機会はなかなかないと思います。私自身も一視聴者として『VIVANT』が大好きですし、皆さんに楽しんでもらいたい、その一心で作ったイベントですので、ぜひ楽しんでもいただければと思います」とコメントしました。

宮崎監督は、1年以上にわたる撮影を経て作り上げた作品を多くの人に見てもらえることへの感謝を述べ、「このイベントを作ったスタッフもキャストも、とにかく『VIVANT』を愛してくださっている皆さんへの感謝の思いで、ここで楽しんでもらいたくて制作しました。今もギリギリまで良いものにならないかと変えながら作っています。長期間なのでドラマの内容にも合わせながら少しずつアップデートしつつ、とにかくファンの皆さんに楽しんでもらえるようになればなと思っています。本当に『VIVANT』ファン一人ひとりに届けばなと思っています。ぜひ、楽しんでください！」と締めくくりました。

■イベント概要

[タイトル] TBSドラマ体験型イベント VIVANT IMMERSIVE MISSION

ーここから、あなたの冒険が動き出すー

[開催期間] 2026年9月16日（水）～11月27日（金）

[開催時間] 月・火・水・木・日：10:00～18:00（最終入場17:00）

金・土・祝：10:00～20:00（最終入場19:00）

※11/27(金)のみ 10:00～18:00（最終入場17:00まで）

[開催場所] CREATIVE MUSEUM TOKYO

〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-1 TODA BUILDING 6F

<アクセス>

- JR線各線「東京駅」八重洲中央口より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線／東西線、都営浅草線「日本橋駅」B1出口より徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋駅」6番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩8分

[チケット販売情報]

<平日> 一般・大学生：2,500円／高校生：1,700円／中学・小学生：900円

<土・日・祝日> 一般・大学生：2,800円／高校生：2,000円／中学・小学生：1,200円

※チケット情報詳細は公式サイトをご確認ください

[チケット販売サイト]

- TBSチケット <https://tickets.tbs.co.jp/VIVANT-immersive-mission/>
- イープラス <https://eplus.jp/VIVANT-immersive-mission/>

注意事項

※本イベントは事前予約制（日時指定）です。

※障がい者手帳をご持参の方（付添の方1名を含む）は入場無料ですが、必ずイープラスのチケット販売ページから事前予約の上ご来場ください

※本イベントでは専用アプリ「Auris（オーリス）」（無料）が必要です。チケットの購入とは別に、専用アプリ「Auris」を事前にインストールしてください。

※対応端末以外の場合、ご体験いただけません。事前にご利用の端末が対応端末であることをご確認ください。

対応端末

iPhone：iOS15.6以降、2017年11月以降に発売の機種（iPhone X以降、iPhone SEは第2世代以降）

Android：Android12以上（最新バージョン推奨）のARCore対応機種

※ご体験時、イヤホンやヘッドホンを使用しますので必ずご持参ください。

※会場は一部エリアを除いて撮影禁止です。

[主催] TBS / CREATIVE MUSEUM TOKYO

[企画協力] KAMACHIKAYA

[公式サイト] <https://www.tbs.co.jp/VIVANT-immersive-mission/>

[「VIVANT IMMERSIVE MISSION」に関するお問い合わせ] 050-5541-8600（ハローダイヤル）

[公式 Xアカウント] https://x.com/VIVANT_MISSION

■日曜劇場『VIVANT』とは

日曜劇場『VIVANT』は、2023年夏にTBS系で放送され、予測不能なストーリーと豪華キャストの競演、圧倒的な映像美と壮大なスケールで多くの視聴者を魅了し、社会現象を巻き起こしたドラマです。堺雅人演じる主人公・乃木憂助を中心に、「別班」「公安」、そして国際テロ組織「テント」など、さまざまな組織や人物の思惑が複雑に交錯。誰が敵で、誰が味方なのか分からない、先の読めない展開が大きな話題を呼びました。



第1シーズン全10話のタイムシフトを含むテレビ放送の総視聴人数は6,000万人を超え、「東京ドラマアウォード2024」連続ドラマ部門グランプリをはじめ、「Yahoo!検索大賞2023」ドラマ部門1位、「TVerアワード2023」特別賞など数々の賞を受賞。2026年7月からは待望の第2シーズンが放送中。前作から続く壮大な物語が再び動き出し、さらなる注目を集めています。

番組公式サイト：https://www.tbs.co.jp/VIVANT_tbs/

<あらすじ>

「その男、ただの会社員か、それとも——」

あなたの会社の隣の席に座っている、目立たない同僚。毎朝すれ違う、人当たりの良い隣人。もし彼らが、国家最高レベルの戦闘能力を持つスパイだとしたら？

——『別班』。それは、日本国内に実在すると噂される、自衛隊の極秘諜報組織。
(ちなみに平成25年の国会答弁で当時の政府は別班の存在を否定している)

主人公・乃木憂助は、平凡な会社員。ある日突然、130億円もの誤送金事件に巻き込まれ、慌てふためき、砂漠を彷徨うその姿に、誰もが同情するだろう。しかし、物語が進むにつれ、あなたは疑い始める。

「この男は、一体何者なんだ？」

冒険の果てに見えてくるのは、日本を護るための孤独な戦いと、血の宿命。誰もが欺かれる、衝撃の展開。あなたは、この男の正体を見破ることができるか。